

◆江別市地域公共交通計画 全体フロー

現状・問題点	課題	基本方針	施策項目	具体的施策
<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活の移動は札幌市との流動割合が高い ●市内では駅を中心とした路線バス利用が多い ●タクシーは、日常的な利用は少ないが、飲食等の非日常的な利用は多い <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●バス-バス間や鉄道との乗り継ぎへの満足度が低い ●通勤利用において始発時間や終発時間が合わない ●路線再編により見込んだ「野幌高校」の通学需要を取り込めていない ●病院など目的地近くへの停留所の設置ニーズが高い ●市内のバス路線は重複路線が多いことから、事業者間連携による運行サービス向上の期待が高い <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●ホテル開業等によりコロナ禍でも観光客数や宿泊客数が増加傾向 ●鳶屋書店や北広島ボールパークへのニーズが高い 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通ネットワークの維持 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●運行サービスの最適化と乗り継ぎの改善 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●新たな利用者ニーズへの対応 	<p>基本方針1</p> <p>持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性・効率性の向上</p>	<p>公共交通ネットワークの維持・改善及び交通結節機能の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●バス路線及び運行ダイヤ等の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・駅を中心とした効率的なバス路線の維持 ・利用者の少ないバス路線の見直し ・観光施設等へのアクセス改善や連携の検討 ・利用者ニーズに対応した運行ダイヤ等の見直し ●鉄道主要駅での乗り継ぎ改善と情報充実化 ●新技術や新たな交通モード等の導入に向けた研究 <ul style="list-style-type: none"> ・MaaS、AIオンデマンド交通等の新技術の導入に向けた研究 ・路線バス運行時間外のタクシー活用
<ul style="list-style-type: none"> ●市民のスマートフォン普及率は約8割、80代でも約5割 ●路線バスは、運行経路や所要時間がわかりにくい ●バス事業者の情報提供に対する満足度が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ●わかりやすい情報提供 		<p>公共交通に関する基本情報の整理及び提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●バス路線マップ及び路線バス乗り方ガイドの更新・発行 ●広報紙や江別市HP等を活用した情報発信
<ul style="list-style-type: none"> ●冬期の路線バスの遅れの満足度が低い ●上屋のない停留所が多く冬期は厳しい待合環境 ●雪害による運休や遅延発生時は停留所での情報提供が困難 ●雪害時はバス路線や停留所の除排雪が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ●冬期の路線バス利用環境の改善 	<p>基本方針2</p> <p>誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり</p>	<p>関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●雪害時の除排雪に向けた連携体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・優先除排雪の実施に向けた協議 ・雪害時の事前迂回路の設定 ・地域と連携した停留所の維持管理 ●江別市HPやLINE等を活用した運休情報の発信
<ul style="list-style-type: none"> ●郊外部は交通が不便 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通不便地域の解消 			
<ul style="list-style-type: none"> ●少子高齢化の進行 ●運転免許自主返納者の増加 ●運転免許返納に伴う公共交通サービスへの期待の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者等の移動支援 			<ul style="list-style-type: none"> ●新たな待合所やバスロケーションシステムを活用した情報設備等の研究 ●交通不便地域等における交通手段の検討 ●高齢者等の移動支援に係る検討
<ul style="list-style-type: none"> ●世帯の自家用車の保有率は9割以上 ●夏期・冬期ともに、路線バスを利用する割合が「1割未満」 ●コロナ禍による公共交通の利用者減少 	<ul style="list-style-type: none"> ●アフターコロナに向けた公共交通の利用促進 	<p>基本方針3</p> <p>公共交通を支える市民意識の醸成</p>	<p>モビリティ・マネジメントの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●出前講座の開催やイベント等での利用促進 ●転入者へのバス路線等の周知 ●広報紙等による啓発
<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通の利用者減少と収支悪化 ●路線バスの乗務員不足と労働基準法改正への対応(2024問題) 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域公共交通の維持 	<p>基本方針4</p> <p>公共交通を支える仕組みづくり</p>	<p>補助制度や支援施策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●現行の補助制度の適時見直し ●新技術や新たな交通モード等の導入への対応 ●乗務員確保策の検討